

令和8年10月27日

青森県宮下宗一郎 知事 殿

津軽半島と下北半島のクマ駆除政策への反対意見および生態系保全に関する提言

お岩木山自然農園 青森県弘前市在住 中原 稔 移住歴 10 年

私は青森県全域で、約 200 名の生徒の皆様と共に無農薬の家庭菜園を広げる活動に取り組んでおります。

現在 青森県内のホタテ養殖業は壊滅的な被害を受けております。その主たる原因は人間の経済活動や家畜飼料生産のための 世界的な森林破壊による地球温暖化です。

皆さんもよくご存知の通り「森を守るとは、海を守ること」につながります。森を豊かに育むクマは生態系の守護神です。その習性により、広範囲に植物の種を運び 散布する役割を担っています。

現在 青森県内でも深刻な問題になりつつある、増えすぎるイノシシやシカの被害を抑え、結果として陸奥湾の豊かな海を育む重要な役割を果たしています。

現在、人とクマとの問題が増加している背景には、かつて存在していた緩衝地帯である「里山」の衰退があります。クマを呼び寄せてしまう危険のある短絡的な箱罠の設置ではなく、根本的な解決に向けた以下の政策を提言いたします。

1、緩衝地帯（里山）の再生と移住促進

里山に住む方々への支援優遇処置や「里山移住促進条例」を制定し、人とクマが適度な距離を保てる環境を再構築すること。

2、マタギ文化の継承と「犬」を活用した追い払い

命や山の神への畏敬の念を尊ぶマタギ文化を継承し、古来の知恵である「犬を活用したクマの追い払い」を有効活用すること。

3、山を破壊する風力発電開発の再考

山にとって最も重要な場所である尾根筋を削るような大規模開発を抑え、青森の原生林を守り育てること。青森の豊かな自然環境を守ることこそが、長期的な地域の豊かさにつながり、問題の根本原因を解決することになります。

美しい大自然とそこに生きるすべての命を守る政策への転換を切にお願い申し上げます。

それこそが 47 都道府県で唯一「森」という漢字を持つ 青森県のふさわしい姿ではないでしょうか？

環境先進県のトップランナーとして素晴らしい政策の実施をお願いいたします。

それが引いては 青森県への移住者促進の最善手となると 私は考えています。